

新城市議会議員**カークランド陽子**の活動報告と議会報告

柿栗レポート

令和５年 冬

（皇紀　2683年）

VOL. －

ごあいさつ

寒さが厳しくなってきた今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか？　私はお正月、庭の寒椿や水仙の花に心癒される一方でいつも通り体重を増やし、今月はダイエットに励もうと心に誓っているところです。

１２月議会では、大きな施設建築事業への予算や市民の皆様にも影響の大きい条例改正などが可決されました。それらを含め、ここにご報告いたします。

市の事業の補正予算・条例改正ピックアップ

事業内容	予算額
① こども園再編・整備計画策定事業 ---------- こども園再編・整備計画策定業者選定委員（プロポーザル評価委員）への報酬及び費用弁償の支払 ※債務負担行為　こども園再編・整備計画策定支援業務委託Ｒ５～Ｒ６---	**４万９千円** 一般財源 （2,183 万 5 千円）
② 学校給食施設改築事業 ---------- 学校給食共同調理場（給食センター）の本体工事を行います。	R4 年度 **194 万 3 千円** R5~R6 年度 **27 億 3,336 万 8 千円**
③ 新城市水道事業給水条例の一部改正 ---------- 改正理由は、水道事業の安定的な経営を図るにあたり、水道料金の額を改定（基本料金の値上げ）するため必要があるからである。（令和５年８月１日から施行）	詳しい値上げの詳細は、上下水道部までお問い合わせください。 0536-23-7645

上記②を含む第 133 号議案に、以下の理由などにより反対しました。

第 133 号議案には、光熱費等の物価高騰の影響を受ける事業者さんへの支援などその他にも多くの大切な予算が含まれています。しかしこの中には、これまでも私を含む複数名の議員がその問題点を指摘し続けてきた「給食センター建築」に関わる多額の予算も含まれています。これらを切り離して考えなければ適正な審議はできないと考え、給食センター建設のための多額の予算を切り離す「修正案」を提出しましたが、反対多数で否決されました。３月からお願いし続けている、市民への丁寧な説明の会も未だ開かれておらず、１２月議会ではついにそれぞれ別の市民から、**(1)「市民説明会の実施」と「地産地消促進に向けた計画の具体化」を求める請願**と**(2) 給食センター建設中止を求める請願**、が提出され、(1)は１７名中１５名賛成で採択となりました。

上記③の第 129 号議案に加え、上下水道関連料金値上げのための条例改正に、以下の理由で反対しました。

過去の経緯などを見る限り、今回の水道料金値上げの原因は一般財源の無駄遣いによるものが大きいと理解し、また、コロナや世界情勢の変化で光熱費の値上げも相次ぎ経済が冷え込んでいるこのタイミングでライフラインである水道の値上げをすれば、消費意欲がより一層下がり経済にもさらなる悪影響があるのではと考え、上下水道料金値上げに関わる３つの議案に反対しました。しかし新城市の水道事業の経営は深刻な状態に違いなく、今後新城だけでなくより広域で考えていくべき問題だと思います

12月 請願



【新城市クリーンセンター　視察】

新城市の黄色いゴミ袋。破れやすいなぁと感じたことがある方、いらっしゃるのではないでしょうか？実は理由があるんです。新城の焼却炉は、ゴミをクレーンで吊り上げて高いところから落とすことによりゴミを混ぜて、それにより燃えるときに発生するエネルギーを均一化し、ゴミを燃えやすくするタイプで、そのため破れやすすぎず、けど落とした時にちゃんと破れる絶妙な固さを作り上げているとのこと。エネルギーを均一化することにより、炉が傷みにくくなるそうです。
また、鉄は新城の焼却炉では溶けないため、長い針金や金属が入っているとそのまま残り、灰になって落ちていくべきものが落ちていかず、炉の傷みにつながります。さらにゴミ袋に水分がたくさん残っているとゴミが重くなり、ごみ収集の方の負担になるということでした。一人一人がゴミのルールをちゃんと守って、焼却炉やゴミ収集の負担を少しでも軽減できたらなぁと思いました。

【長久手市　もりのようちえん　視察】



厚生文教委員会で長久手の私立もりのようちえんと長久手市の取り組みの視察に行ってきました。木の温もりがいっぱいのこの幼稚園、なんと設計士さんも使われている木材も**新城産**なんです！
元々は森を守りたいという思いから現在の長久手市長さんが 1992 年に作った幼稚園。山の地形を生かし、まるでキャンプ場を思わせるようなワクワクする空間で、子供たちが生き生きと元気に遊んでいました。既存の詰め込み教育ではなく、五感で感じ自分で考える教育が見直され始めている昨今、このような教育を求める保護者の声も増えてきていると感じます。
新城市には森は沢山ありますが、実際どのくらい触れ合えているのでしょうか。新城市にも教育の本質をしっかり捉え、こども園再編の際には子供の未来のためにベストな方法を選択して欲しいで

～ご報告～

私、カークランド陽子はこの度「参政党」の公認議員となったことを、ご報告いたします。
参政党とは、「仲間内の利益を優先する既存の政党政治では、私たちの先祖が守ってきたかけがえのない日本がダメになってしまう」という危機感を持った有志が集まり、ゼロから作った政治団体です。特定の支援団体も、資金源もありません。同じ思いを持った普通の国民が集まり、知恵やお金を出し合い、自分たちで党運営を行っています。先の参議院選挙では１７０万票以上を獲得し、晴れて国政政党となりました。私自身が長いイギリス生活により見えてきた、世界で起きていることや、多くの日本の人たちが気づいていない今日本が置かれている状況など、私が新城の人たちや日本の人たちに伝えたいと思っていたことを全て言ってくれているのが「参政党」です。そのため公認になってもならなくても、私の市議会議員としての方向性には一切変わりはありません。今後も引き続き今まで以上に大好きな新城のために頑張る所存ですので、まだまだ未熟ではございますが、見守っていただけると幸いです。

【カークランド陽子事務所】
メール: info@yokokirkland.jp
ホームページ: yokokirkland.jp

ご意見・ご質問・お困りごと等、お気軽にお問い合わせください♫

一般質問

令和４年12月定例会・一般質問

ワクチン　新型コロナウイルス 感染症と、乳幼児への新型コロナワクチンについて

	質問	当局からの回答
1	政府の分科会でも第７波の新型コロナウイルス感染症は、重症化率でも致死率でも季節性インフルエンザよりも低いか同程度であるとのこと。また発表されているコロナ死亡者数には他の病気や事故で亡くなった方もカウントされており、愛知県によると実際に７波以降コロナで亡くなった人はほとんどいないとのことだが、本市の新型コロナウイルスの警戒度に関しての認識は？	新型コロナウィルス感染症はこれまでは２年間年末年始に感染が拡大していることや、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念され、本日から来月15日まで県独自の医療逼迫緊急防止アピールが発出された。 県の警戒度に従い基本的な感染防止対策の徹底や、ワクチン接種の円滑な推進が重要である。
2	新型コロナウイルス感染症対策のためのワクチンとマスクの対応を含む本市の見解と方針は。	ワクチン接種は感染予防・重症化予防を目的として行っている。マスクは、はずしても良い部分では外していただくなど場面に応じた着用が必要。
	厚生労働省のお知らせでは学校での黙食はしなくて良い、また体育の時は屋内外限らずマスクを外す旨の記載があるが、学校によってはこのような場合もマスク着用を求めているようです。マスクが子供に与える悪影響は市でも認識していると思うが、対応は？ また市民が市の行事に参加した際に、マスクを着用していないため発言を禁止されたという声があるが？	学校への周知はしているが、学校の実態をしっかり把握して対応を進める。 こども園はホームページで周知している。未就学児は外では一切マスクをしていないし、基本的にはしていない。 今回のケースではマスクを着用できない理由などを聞かなかったので、今後ルール化してお話を伺う機会を設けたい。
3	新型コロナワクチンはそもそも治験中。多くの医師からメリットよりデメリットが勝るのではとの提言も。１０月には接種後に亡くなった方の遺族からなる遺族会も立ち上がったが、新型コロナワクチンの副反応についての本市の認識は？	主には頭痛・披露・接種した部位の痛みがあり、まれに起こるものとして、ショックやアナフィラキシーがある。 本市でも２名の方から、健康被害と言うことで申請が来ている。そのためワクチンによる健康被害があると言う事は承知をしている。
4	乳幼児への新型コロナワクチン接種が開始されたが本市の方針は？	希望された方が速やかに接種を行っていただけるよう、接種体制を整える。
	本市も案内の際に添付している厚生労働省の資料には、このワクチンには「発症予防効果」があるとあり、「感染予防効果」があるとは書いていない。また欧州議会でワクチンメーカーの幹部が、**「感染予防効果は確認していない」**という旨の発言をしたが、市としても「感染予防効果はない又は不明」と周知した方が良いのでは？	市ではそういう検証はできないので、市としては国の方針に従って行っていく。
要望	昨年終わりの時点で今回のワクチンで亡くなられた方が公式発表だけで1900人超、副反応被害も報告されているだけで５千件を超えた。しかし私の周りでもワクチンが原因と認められていないケースも多く聞こえてきており、これはまだまだ氷山の一角であると思われる。国会でも、自身も薬害エイズの被害者である議員が、「薬害の最大の原因は情報隠蔽である」と発言している。市民には、接種するか否かの判断ができるような情報をしっかり伝えて欲しいし、せめて副反応が出た際に気軽に相談できるよう、市としても副反応の相談窓口を作ってほしい。	

市産市消　市内こども園と学校給食における、農産物の市産市消について

我が国の食料の生産や供給をめぐる国内外の状況は刻々と変化しており、近年新型コロナウイルス　感染の拡大やロシアによるウクライナ侵攻といった新たなリスクの発生により、食料安全保障上の懸念が高まりつつある。食料の安心安全を保証するためには、それぞれの地域が食料や農業を循環型にしていくことが鍵であると考えられ、そのためにまずは地場農産物を学校給食にとり入れることが有効であると考えられる。新城市でも令和３年に９．６％だった市産市消率を令和８年までに１５％にあげるという目標を設定しているが、以下伺う。

質問1	こども園と学校給食の市産市消農産物と、品目ベース・金額ベースの割合は？	回答1	こども園で品目 29.2%・金額 6.3%。米は愛知県産で、新城産かどうかはわからない。学校給食では米は新城産。主に玉ねぎ・キャベツ・人参・じゃがいも・ネギなど 13 品目で新城産の使用頻度が高く、豆腐や油揚げなどの加工品を加えると市内産は 9.1%。金額ベースは不明。
	JA 月別売り上げトップ 10 に入っている野菜でも市内産が使われていないケースがしばしば見受けられるが？		食材についてはそれぞれで発注をしているので、業者の確保の状況等によって、そのような影響が出てきていると思われる。
2	市産の主に農産物を使用する際の現在の課題と、課題に対する今後の対策は？	2	安定した品質と供給の確保が課題。形や大きさが不揃いだと使用しづらい。 給食センターになれば、不揃いの野菜を処理できる機器を導入予定なので、今後検討したい。また、農業部門の検討会や協議会と連携し検討を進めていく。
	平成 15 年から 3 年間愛知県が実施した「学校給食地産地消推進事業」の中に、新城市の取り組みが紹介されており、その中に、お答えいただいたような課題は解決したとある。今までずっと自校式給食であるが、平成 23 年には 20%地場産を使用しており、その後は現在に至るまで右肩下がり。当時解決できていた課題が今解決できていないのには理由があるのか？		当時どのように解決したかはわからないが、現実問題として給食調理する時間は決まっているので、時間内に処理するためにはある程度規格にそったものを使って調理することの効率が良い。その結果不揃いなものの利用が低くなっている。
要望	全国で学校給食における地場産物の利用率は、品目ベースで 26%・金額ベースで 56%とのこと。地産地消の推進は国でも力を入れていて、地産地消コーディネーターの派遣や育成などの事業も実施しており、実績をあげている。新城市でも部署ごとの横の連携をしっかりとり、15%と言わず 100%目指して取り組んでいただきたい。		

リサイクル　ごみのリサイクルについて

質問	新城市でもごみのリサイクルを推奨しているが、新城市としての取り組みと課題は？
回答	新城市ごみ処理基本計画・新城市環境基本計画などに基づき、３Ｒを推進、食品ロスの削減、もったいない意識の普及・啓発等について、具体的な行動を定めてごみ減量に関する取り組みを推進している。　3R には次の優先順位がある。（１）リデュース（ゴミを出さない）（２）リユース（再使用）（３）リサイクル（再生利用）。　リサイクルは人やエネルギー・お金をかけて再生利用しているのが課題。不用品があったらリサイクルすれば良いという意識ではなく、すぐに使わなくなるものは作らない・買わない・増やさないという意識の醸成が重要。

一般質問は、「新城市議会インターネット中継」と検索すると見ることができます！